

インクルーシブ教育 学習活動計画案 (道徳：小学校低学年)

インクルーシブ教育推進課

1. 対象 (人数) ○○市立□□小学校 1年生 (合計○名、)
2. 日時 平成○年○月○日(○)△：△～△：△
3. 場所 各学級
4. 主題名 「ともだちとなかよく」
5. 内容項目 B- (9) 友情、信頼 (友達と仲よくし、助け合うこと。)
6. 資料名 「およげない りすさん」 (出典：文部科学省 わたしたちの道徳 小学校1.2年)
リーフレット「かながわのインクルーシブ教育の推進」(低学年版教材)
7. 本時のねらい
・友だちと仲良くし、お互いに助け合っていこうとする心情を育てる。
8. 活動の流れ

時間	主な学習活動	・予想される児童の反応 *留意事項 ◆指導の工夫 ★評価	資料・準備
導入 (10)	1. 本時の学習内容を知る。 2. 友だちと助け合うことができた体験やその時の心情を想起する。 ・友だちにしてもらってうれしかったことや助かったことはどんなことですか。 ・もっと友だちと仲よくなるためには、どのような気持ちがあればよいだろう。	・鉄棒で練習をしている時に応援してくれた。 ・一人でいる時に、「一緒に遊ぼう」って声をかけて誘ってくれた。 ・忘れ物をして困っていた時、色鉛筆を貸してくれた。 *今までの生活を振り返り、友だちと仲よくし、お互いに助け合うことよさに気づかせる。 *友だちと助け合うことができた経験を想起させた上で、もっとどのようになりたいか追いかけることで、ねらいとする価値への方向付けをする。	
展開1 (10)	3. 資料「およげないりすさん」を読む。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【登場人物】 はくちょう、あひる、かめ、りす 【条件・状況】 はくちょう、あひる、かめが、池の中へ行って遊ぶ相談をしていると、りすさんも「つれていってね。」と頼む。しかし、「およげないからだめ」と言われてしまう。 </div>	◆登場人物、条件・状況をしっかり押さえる。 *ペープサートや場面絵を使い場面を把握しやすいようにする。 (児童の実情に合わせて分けて読む等工夫する) 「はくちょう、あひる、かめ」は泳げるが、「りす」は泳げない。	○わたしたちの道徳1・2年 ○場面の絵等(視覚教材)

<p>展開2 (15)</p>	<p>4. 登場人物の心情を中心に話し合 う。</p> <p>① 3匹は、「一緒に連れて行って ね。」と言ったりすさんをおいて行 ったとき、どのようなことを考えた でしょう。</p> <p>② 島で遊んでいるとき、3匹はどんな ことを考えていたでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に遊びたいな。 でも、りすさんは泳げないから一緒 には行けないな。 ・僕らは、泳げるけれど、りすさんは 泳げないぞ。 ・泳げないと一緒に遊べない。 ・かわいそうだけど、断ろう。 ・りすさんが来ると島へ行けないな。 *なぜ、「だめ。」と言ったか考えさ せ、3人の自分本位な気持ちを捉え させる。 自分たちの一方的な考えで断ってし まったことをおさえる。 *ひとりぼっちになってしまったりす の気持ちも考えておく。 ◆相手の気持ちを考えずに断ってしま ったことを考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・りすさんがいないと楽しくないな。 でも仕方ないよ。一緒にこられない のだから。 ・りすさんどうしているのかな。 寂しいだろうな。 ・やっぱり、りすさんと一緒に遊びた いな。りすさんが島へ行く方法はな いかな。 * 3匹がどんなことを考えて遊んでい るか想像させ、気持ちに変化してい ることに気づかせる。 りすがいないことで、少しも楽しく ないことを押さえておく。 ◆自分のことだけを考えて行動してし まったことに気づき、相手の立場に 立って考えを持とうとすることがで 	
---------------------	---	---	--

<p>終末 (10)</p>	<p>5. 今の自分の状況を振り返り考えを深める。</p> <p>①リーフレット「かながわのインクルーシブ教育の推進」（低学年版教材）に記入しましょう。</p> <div data-bbox="491 517 786 600" style="text-align: center;"> </div> <p>②あなたにとって、友だちと仲よくするってどういうことですか。</p> <p>6. 本時の学習活動を振り返り、教師によるまとめの話を聞く。</p>	<p>*自分の生活を振り返り、友だちと仲よくするとはどういうことかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いっしょに遊ぼうと誘う。 ・困っている友だちを助ける。 ・友だちの気持ちを考えて、優しくする。 <p>★友だちの気持ちを考え、だれとも仲よく助け合っていこうとする気持ちを高めることができたか。（発言等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからも、自分にできることを考えて取り組んでいこう。 	<p>○かながわのインクルーシブ教育の推進 (低学年版教材)</p>
--------------------	---	---	--

9. 評価

- ・友だちに温かい心で接し、お互いに助け合っていこうとする気持ちを高めることができたか。

【およげない りすさん】

池いけの ほとりで、あひるさんと かめさんと
白鳥はくちょうさんが、池いけの 中なかの しまへ 行いって、
あそぶ そうだんを して いました。

そこへ、りすさんが あそびに 来きました。

りすさんも、みんなと いしょに、しまへ
行いきたく になりました。

そこで、

「ぼくも いっしょに つれて 行ってね。」
と、みんなに たのみました。

「りすさんは、およげないから だめ。」
みんなが、言いいました。

そして、みんなは 池いけに 入はいると、しまの 方ほうへ
およいで 行って しまいました。

りすさんは、一人ひとりぼっちに なって
しまったので、うちへ 帰かえりました。

みんなは しまに つきました。
しまには、すべり台だいや ぶらんこが ありました。
しかし、あそんでいても、少すこしも 楽たのしく
ありません。

「やっぱり、りすさんが いた ほうが いい
ね。」

「でも、りすさんは およげないからな。」

はくちょう 白鳥さんと あひるさんが 言いました。

かめさんは しばらく してから、
「うん、いい ^{かんが} 考えが ある。」

と 言いました。

つぎの ^ひ 日、りすさんが、^{いけ} 池の ほとりへ
^い 行って みると、みんなが あそんで いました。

「りすさん、きのうは ごめんね。」

「^{きょう} 今日、りすさんも いっしょに しまへ
^い 行こうよ。」

はくちょう 白鳥さんと あひるさんが 言いました。

かめさんは、
「りすさん、りすさん、ぼくの ^{なか} せ中に
のりなさいよ。」

と、^{こえ} 声を かけました。

りすさんは、にこにこしながら、かめさんの
^{なか} せ中に のりました。

かめさんの ^{なか} せ中に のった りすさんを
かこんで、みんなは しまへ 行きました。

出典：文部科学省 わたしたちの道徳 小学校1・2年版
P78-81 「およげない りすさん」
(原作者 小野瀬 稔)